



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三條北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会 長：金子太一郎

幹 事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三條ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三條市本町3-5-25三條ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP: <http://www.sajo-nrc.org>

AD: north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「ロータリーの友月間」

- ◆本日の出席：66名中43名
- ◆先々週の出席率：66名中58名 87.88%
(前年同期 81.82%)

◆先週のメークアップ：(敬称略)

- 9月7日三條RC 山崎 勲、中條耕二
今井克義、坂内康男
- 12日三條南RC 樋口 勤、石川勝行
中條耕二、佐藤弘志
山崎 勲
- 13日社会奉仕委員会
渡辺 徹、西村 護、金子太一郎
佐藤秀一、田口実仁佳

* 本日の配布書類等

- ・No.1421 週報
- ・移動例会案内(出欠表回覧)
- ・地区大会案内(")

会長挨拶：金子太一郎会長



今日はコンビニのお話です。

9月1日にファミリーマートがサークルKとサンクスを傘下に持つユニグループと経営統合しました。これで一気に店舗数

1万8千店になり1万9千店弱のセブンイレブンに続き2位になります。3位は、1万2千店のローソンです。これで3強が揃いました。

私自身、コンビニのヘビーユーザーであります。特にセブンイレブンばかりで月に2、3万円は使います。コンビニ症候群ともいえるべき状態で、お店に寄らないと落ち着かない状態です。特に酒のおつまみを良く買いますし、カット野菜など一人分食べたいなという時には、ちょうど良いですね。

そのコンビニの勢いと反比例するかのように、アメリカ食文化を体現する3大チェーンの苦戦ぶりが浮かび上がっています。それはマクドナルド、ケンタッキーフライドチキン、ミスタードーナツです。

この3大チェーンは、約40年前に日本上陸し、日本人の食習慣に大きな影響を与えてきました。ケンタッキーフライドチキンは1970年、マクドナルドとミスタードーナツは1971年、それぞれ日本での第一号店をオープンさせました。いずれもアメリカ生まれの食べ物で、当時の日本人に鮮烈な印象を与えました。以来、瞬く間に全国に店舗を展開。積極的にテレビCMを行ったこともあり、これらのアメリカ食は、すっかり日本人におなじみの食べ物として受け入れられるようになりました。皆さんの顔ぶれを見ますと、あまり好きそうな方はいらっしゃらないようです。

ところが、これら米国発の老舗チェーンともいえるこの3社に、このところ異変が起きています。いずれも売り上げや利益に陰りがみられています。

日本ケンタッキー・フライド・チキンの売上高は、2011年3月期で888億円だったが、右肩下がりが続いています。また、日本マクドナルドの売上高も同様です。2011年3月期が、3023億3900万円から顕著な減少がみられます。

ミスタードーナツを運営するダスキンフードグループの売上高も、同じく2011年3月期で、511億ですがこれも右肩下がりでです。

これらと対照的に、コンビニ全体の2011～2013年の売上は、8兆6469億円、9兆272億円、9兆

3860 億円と、右肩上がりに拡大を続けています。

日本の人口が増えず、外食産業の市場自体が頭打ちとなっている背景はあるものの、コンビニ各社が次々と繰り出す飲食メニューの充実ぶりが、アメリカ発の老舗たちを苦境に陥れている側面は小さくないです。

例えばフライドチキン。かつては「フライドチキンといえば、ケンタッキー」と言われた。しかし、ファミリーマートが 2001 年に店内で揚げる「ファミチキ」の販売を開始、10 年間で 7.2 億個を売り上げました。各社が追随。最近はスパイスなどに工夫を凝らし、プレミアム、黄金などと銘打った高級チキンも登場、好調な売り上げを記録しています。

また、スイーツ類の伸長も著しい。ローソンのプレミアムロールケーキは、2009 年 9 月の発売からわずか半年で 1800 万個以上を売り上げ、コンビニスイーツとして初めて世界的な食品コンテストのモンドセレクションで金賞を受賞しました。さらには、コンビニ各社がコーヒー専門店を意識した低価格のいれたてコーヒー販売を 2013 年から相次いで開始し、爆発的なヒットを記録しているのは記憶に新しいです。更に近年、ドーナツを販売してからは、ミスタードーナツにとっては厳しい状況が続いています。

この現象は、コンビニ以外の小売業全般にいえることですが、実店舗の閉鎖がますます増えそうです。インバウンド消費のブームが終わり、百貨店の地方のお店の閉店が話題になっております。今後が注目されます。

幹事報告：佐藤秀一幹事

- ・地区ライラ委員長より 第 16 回「ライラ研修」開催のご案内
期日：10 月 22 日(土)～23 日(日) 会場：学生総合プラザSTEP
- ・第四分区森山ガバナー補佐より IM ご臨席のお礼
- ・地区職業奉仕委員長より 職業奉仕委員会セミナー開催のご案内
日時：10 月 29 日(土)11：30～ 会場：長岡グランドホテル 4F
- ・三条市共同募金委員会より 「赤い羽根」共同募金街頭募金のお願い
日時 10 月 1 日(土)11：00～12：00 会場 市内各店舗
- ・にいがた緑の百年物語緑化推進委員会より 秋期緑の募金ご寄付のお願い
- ・田中ガバナーより メジャードナー顕彰午餐会のご案内
日時 11 月 29 日(火)10:00～会場 ウェスティンナゴヤキャッスル 天守の間

委員会報告：プログラム

10 月 4 日(火)の例会は移動例会・鍛冶道場を企画しました。配布しました案内をご確認の上、出欠表に皆さん〇印をお願いします。

*******ロータリー財団ボックス 13 日現在累計 133,000 円*******

*******米山奨学ボックス 13 日現在累計 213,000 円*******

刈岡 茂君 来週は基本的教育と識字率向上月間です。米山奨学会共々よろしくお願いします。
米山 忠俊君 山中さん本日は卓話ご苦勞様です。益々のご活躍期待しております。
中原 尚彦君 よろしくお願ひします。
岡田 健君 福岡さんの隣に座ってしまいました。
高橋 彰雄君 協力
福岡 信行君 山中さんの卓話、楽しみにしています。

*******ニコニコボックス 13 日現在累計 247,000 円*******

中條 耕二君 山中クラブ会報委員長よりなつかしい第一回の例会の週報を見ました。なつかしい 30 年前のことでした。50 歳の若さの時です。
山中 正君 本日の卓話者です。つまらない話を致します。お許し下さい。
石川 友意君 山中委員長の卓話に感謝して
森 宏君 気温が下がって来たら救急患者が減ってます。病院経営にとっては・・・

岡田 健君 今日は妻のバースディです。初めて夕食に行くか？と誘いました！どうしたのと聞かれたのでこの年になると来年があるかどうかわからんからな・・・と夕食に行く事にしました。

笹原 壮玄君 朝晩めっきり涼しくなり、秋の果物の季節となり、肥えるのが心配ですね。

渋谷 義徳君 ニコニコBOXに協力します。山中会員ロータリー情報独演ありがとうございます。

落合 益夫君 ニコニコに協力

田中耕太郎君 協力します。

岡田 大介君 協力！

小林 繁男君 ボックスに協力。山中さんごくろうさん

土田百合子君 本日はこのあとマンモグラフィの検診があるので早退させていただきます。

本日の行事：「ロータリーの友月間」 クラブ会報・雑誌・広報・資料 山中 正委員長

30年を振り返って・・・私が知る限りの『クラブの歴史』『週報の歴史』『ロータリーの友』について・・・



毎年、9月は『ロータリーの友月間』です。いつも、委員長は例会主管で苦勞させられています。私も此のたび例会を主管するにあたり、困ってしまいました。そこで、比較的入会の浅い会員も多くなって参りましたので、その方々をターゲットにお話をして、聞いて頂きたいと思います。諸先輩方には、承知されている事ばかりですので、ご容赦頂きたく存じます。(間違った認識や、失礼なお話となった場合は御許しを頂きたいと存じます)

【クラブの歴史について】

先般の30周年の記念式典を挙げるにあたり、クラブ会員全員で30年の歴史を振り返り、次なる10年に向かって心を新たにしたいわけですね。30周年の式典、懇親会、記念事業、記念誌の発刊など、外山会長ほか、クラブ会員全員のご協力を頂き、無事30周年式典を終える事が出来ました。あらためて、御礼申し上げます。

私はクラブが10年を迎えた時の入会ですから、10年前の事は存じません。しかし、諸先輩からいろいろな事を教えて頂いておりますので、知る限りの事をお話します。

30年前、三条RCの故、藤田説量ガバナーの時代、三条近辺にもう一つのRCを作れとの命を受け、藤田ガバナーから、信頼を受けておられました中條耕二先輩と梨本清一先輩が精力的に動き、三条北RCが(チャーターメンバー26名で)誕生しました。

そんな経過から、初代会長は中條先輩、初代幹事は梨本先輩となるわけです。しかし、ここが不思議なところです。中條先輩、梨本先輩は元々は三条RCの会員でしたから・・・です。その時の話では三条北RCの運営が軌道に乗ったら、両氏とも三条RCに戻るのだと私は別の先輩から聞いておりましたが、結果は皆様ご承知

の通りです。梨本先輩は10年程前に残念ながら、ご事情で退会されました。しかし、このお二人のご功績は大変大きなものです。特に中條先輩がガバナーになられた後の三条北RCの存在は第2560地区内においては大きな評価となって現在に至っております。

RIの歴史を見れば『ポールハリス』名前が一番に上がるわけですが、三条北RCの歴史を顧みれば『中條耕二』先輩となるわけです。そんな思いもあり、30周年の式典には心ばかりではありますが『特別表彰』をさせて頂きました。

毎年、ガバナー公式訪問時に使用される現況報告書には、クラブの歴史が綴られています。会員の皆様には、大切に保管されますよう、お願い申し上げます。周年記念誌も同様です。とくに現況報告書は、自分が委員長に就任した際に、過去にその委員会がどのような事業を実施したのか・・・大変参考になります。

【クラブ週報の歴史について】

週報は、ある時期まで三条新聞さんから構成(校正)印刷して頂いておりました。

当然、白黒印刷です。しかし、当時の委員及び事務局は大変な苦勞でした。なぜならば、外部卓話者の方からは、殆ど原稿を頂戴出来なかったからです。当然メールで原稿など頂く事はありません。ロイヤルホテルさんで例会の音声を録音していただいておりますので、その録音テープを何回も聞き返しながら、原稿を再現します。そして、それを三条新聞さんに持ち込む訳です。締め切りは厳格で金曜日の午前中までとなっていました。ですから、週報の委員は大変でしたし、委員が怠けていると、その以前の事務局さんや、現在の竹之内事務局が大変忙しい思いをする事となっていました。(殆ど、竹之内さんが作業をしてくれていました。現在も同じですが・・・)

当時の週報は、この様な努力から出来上がって

いたのです。しかし、ある時期より週報をクラブで作る事となりました。いつまでも、三条新聞さんに迷惑をかけてはいけない事や、事務局では制度の高いパソコンの導入もあり、カラーでの印刷も可能、また原稿をメールで頂戴出来る事も、クラブで作成する理由となりました。しかし、その事により竹之内事務局の仕事量は大変増えた事も事実です。ですから、これらの努力を感じて頂き、週報もしっかりと読んで頂きたく存じる次第です。一時、週報の印刷を取りやめて、ネット配信を、との意見もありましたが、現状は紙媒体となっております。

【ロータリーの友について】

当クラブでは刈岡会員が『ロータリーの友・委員』になられた事があります。

『ロータリーの友』が一般社団法人化になる前の時だったと存じます。ですから『ロータリーの友』についてのお話は、当クラブにおいては刈岡会員が第一人者だと思います。刈岡会員にご足労いただくには申し訳なく、私の方で今回、知る限りのこととお話しさせていただきます。毎月発刊される『ロータリーの友』ですが、多くの会員からは殆ど読んで頂いてないとの事。そんなお話もよく耳にするわけです。私もその一人ですが・・・

中條先輩の言葉を引用すれば「ロータリーの友を熟読していれば、誰もがガバナーはもとよりRIの会長になれる」と、申されております。それだけにロータリーの情報や理念が満載に記載されております。

そこで『ロータリーの友』に興味を持って頂く為に、おさらいをしたいと思います。

毎月、第一例会に皆様のテーブルに置いてあります。「頂いている」と錯覚するのですが、実際は購入しているのです。一部、216円です。週刊誌と比較してみれば大変安い金額ですが、日本ロータリー全体(9万人)でみると、年間の購読料は233,280,000円となります。当初はB5判でしたが、今はA4判スタイルです。本年度7月号からは厳密に言うとA4変形判からA4判となりました。

裏・表が表紙ですね。(どちらが表で、どちらが裏なのでしょう?)大変珍しい雑誌だと思います。横書き・立書きであり、これも大変珍しく、当時のロータリアン(ロータリーの友編集担当者)は素晴らしい発想を持っていたわけです。では、具体的に「ロータリーの友」を分析して見たいと思います。

■いつ創刊されたのか?

・1953年1月に創刊。その前年、1952年7月、

戦後1地区だった日本のロータリーが東西2地区に分かれていた。そして、両地区の情報交換のツールとして『ロータリーの友』が誕生しました。

■横組みと縦組みについて

・当時の雑誌で横組は珍しいわけです。画期的な事でした。しかし、活字がないものがあったとの事。(ロータリーの「一」文字が上下が逆になってしまう)しかし、横組みでスタートした『友』ですが「俳壇・歌壇」などの横組では出来ないページが登場して、その後、縦組みでの記事も増え、現在のスタイルになりました。その結果、両方が表紙という珍しい雑誌となりました。

■RI指定記事について

『ロータリーの友』は地域雑誌に指定されています。その為にRIからの規則があります。その一つが『The Rotarian』から指定された記事を転載しなければなりません。それが『RI指定記事』です。『RI会長メッセージ』や『RIの活動』などです。ページの右上に『RI指定記事』と記載されています。

■『ロータリーの友』の効果的保存について
毎年、12冊たまっていけます。10年経てば120冊になります。出来れば、効果的に保存すると良いのですが・・・クラブの委員長になると例会主管があります。『会員拡大月間』『米山月間』『R財団月間』『職業奉仕月間』など、年間の月間は多くあります。その時に、参考になるのが『ロータリーの友』です。

『ロータリーの友』を引っ張り出して、そのジャンルを勉強(にわか)にするわけですが、その為にも1月号・2月号・3・4・・・と並べるのではなく、1・1・1・1・1・2・2・2・2・2・3・3・3・3・3・・・と言うように並べると、月間記事を探しやすくなります。オクトンから『ロータリーの友』専用のファイルを購入すると、より一層整理しやすくなります。900円程で購入できます。

■『ロータリーの友』への興味

岡田会長の時代、石川友意さんが「会報・雑誌・広報・資料」の委員長でした。毎月、第一例会の時に「今月のロータリーの友での注目記事」を紹介されておりました。なんとか、会員の皆様から読んで頂く為に工夫されていたことは、記憶に新しいです。

私たちは、毎日、新聞に目を通すわけですが、月に一回発行の『ロータリーの友』をじっくりと読む時間が(習慣が)欲しいと思います。